

01

価値創造の源泉 ～経営資本～

藤田観光が持つ様々な経営資本と強みを生かし、新たな価値を創造しています。

 財務資本	環境に左右されないゆるぎない基盤を構築するために、財務体質のさらなる健全化を図ります。競争力と顧客満足度向上を目的とし、収益拡大に寄与する投資を積極的に行うとともに、内部留保の拡充を目指してまいります。	2025年12月期末時点	売上高 820億円	営業利益 137億円	設備投資額 59億円	自己資本比率 37.3%
 事業資本	自社所有地においては、庭園や温泉などの資源、文化財や歴史的建造物を活用し、新たな価値の創出に取り組んでいます。また、施設運営にあたっては、ニーズやブランドの特性を踏まえ、戦略的に立地選定を行っています。		歴史的建造物	全国に広がる 運営施設	ホテル椿山荘東京・ 箱根小涌園 一帯の資産	温泉水などの 資源活用
 知的資本	70年間の歴史のなかで、各施設のブランドと、そのブランドを支える運営ノウハウを積み上げてきました。「お客さまのライフスタイルに寄り添う」ユニークな事業展開でブランド価値のさらなる向上を目指します。		伝統のブランド	ビジネスホテルを はじめとする 運営ノウハウ		
 人的資本	「企業の根幹は人である」という経営指針のもと、人材の確保と育成を最優先課題として捉えています。求める人材の獲得につながる好循環を進めて、持続的な成長基盤の構築を目指してまいります。		「いつも、ありがとうのいちばん近くに。」 を目指した教育メソッド	専門スキルや資格を保有する人材 (コンシェルジュ・料飲サービス・調理・ 庭園管理など)		
 社会関係資本	地域に根ざした宿泊施設などを運営する当社は、ステークホルダーとの関係構築を重視しています。お客さまや地域社会とのつながりを強化し、持続的な成長を目指してまいります。		会員組織 「THE FUJITA MEMBERS」を通じた コミュニケーション	社会貢献活動	取引先との関係	
 自然資本	お客さまが快適さと持続可能性を両立させたご滞在を選択できるよう、宿泊施設やレストランなどにおいて、サステナビリティの取り組みを推進しています。		CO ₂ 排出量合計 30,816 _{t-CO₂}	取水量 257 _{千㎡}	ホテル椿山荘東京 箱根小涌園 1,681 _{千㎡}	

※CO₂排出量は2024年4月～2025年3月実績

※取水量は2025年1月～2025年12月実績

※CO₂排出量は2024年4月～2025年3月実績 ※取水量は2025年1月～2025年12月実績

統合報告書 2025

藤田観光株式会社

企業理念	01
CONTENTS	02

Chapter 1 価値創造ストーリー	
社長メッセージ	03
価値創造プロセス	07
価値創造の源泉 ～あゆみ～	08
価値創造の源泉 ～経営資本～	09
価値創造の源泉 ～強み～	10
藤田観光の成長サイクル	11

Chapter 2 戦略	
Chapter 3 サステナビリティ／ コーポレート・ガバナンス	

Chapter 4 データ	
---------------	--